

株主通信

第70期 中間報告書

[令和2年4月1日～令和2年9月30日]



今日を支え 明日を創る

株式会社 四電五

YONDENKO

Investor
Relations
2020

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素格別のご支援を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。
株主のみなさまにおかれましては、これまでどおり、一層のご理解とご支援を
賜りますようお願い申し上げます。

令和2年11月

取締役社長

宮内 義憲



○当社グループの事業の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生産や輸出、個人消費が大幅に低下した後、一部持ち直しの動きがみられるものの厳しい状況が続いており、四国地域においても、ほぼ全国と同様の状況で推移しました。

当建設業界においては、公共投資が底堅く推移する一方、設備投資や住宅投資は弱含みで推移しました。他方で、新型コロナウイルス感染症の業績への影響は、現時点では限定的なものとなりました。

こうしたなか、当社グループの当第2四半期累計期間の連結業績は、期首持込工事の進行売上高の増加や原価管理の強化による売上利益率の改善などにより、増収・増益となりました。

○今後の見通しと当社グループの取り組み

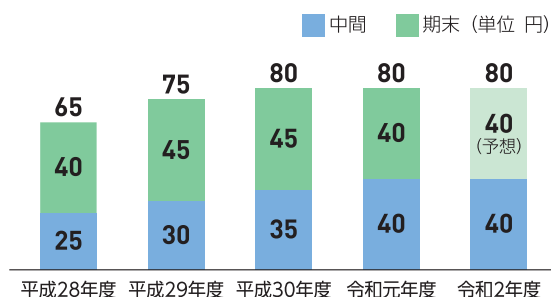
今後の見通しについては、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言は解除となりましたが、世界的な流行拡大は続いており、国内においても感染の再拡大やその長期化が懸念されていることなどから、今後の経済情勢は厳しい状況が続くものと考えております。

建設業界においては、大都市圏を中心に建設市場は底堅い一方、人手不足や建設コストの上昇に加え、新型コロナウイルス感染症による中長期的な投資マインドの減退が懸念される中、当社グループにおいては、電力関連工事や地方の建設投資の停滞など、より一層厳しい経営環境で推移するものとみております。

こうした状況ではありますが、当社グループは、「中期経営指針2020」で掲げた、人財づくりと能力の発揮、経営体質の強化、M&Aなどを含む新たな挑戦と創造を三本柱とする重点施策に継続的に取り組むとともに、ポスト「中期経営指針2020」を見据え、持続的成長の実現と企業価値の向上に努めてまいります。

1株当たりの配当金額

中間配当金につきましては、令和2年10月30日開催の取締役会において、1株につき40円(支払開始日11月30日)と決定させていただきました。



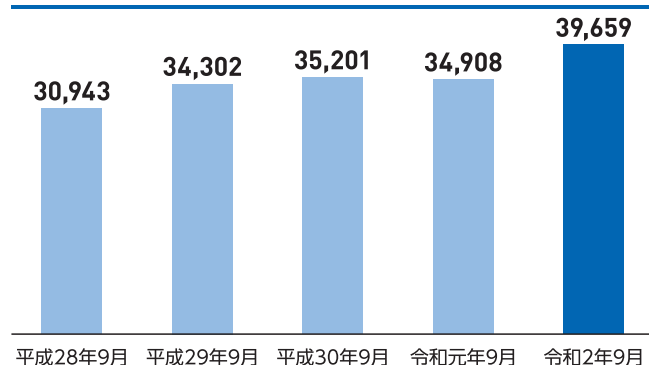
(注) 当社は、平成29年10月1日付で、株式併合(5株を1株に併合)を実施しております。
平成29年度中間以前の配当金額は、併合後に換算しております。

2020年度 財務ハイライト

当社グループの業績および財産状況

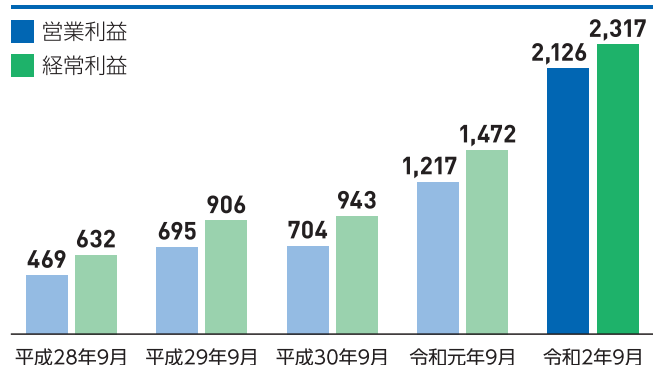
売上高

(単位 百万円)



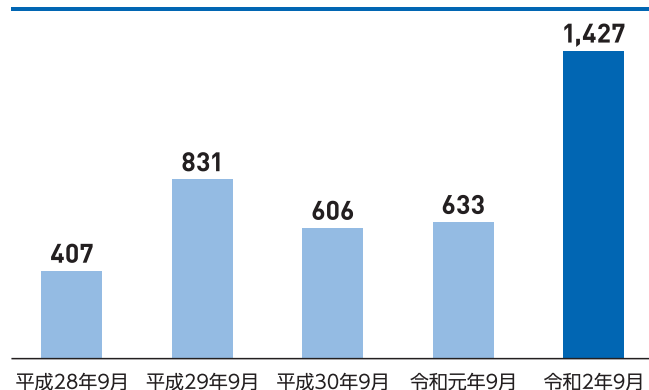
営業利益・経常利益

(単位 百万円)



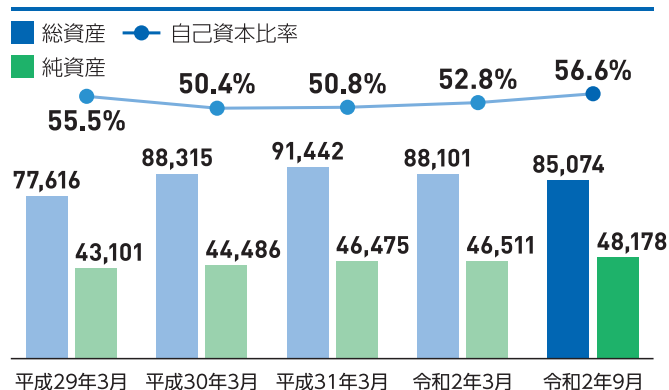
親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位 百万円)



総資産・純資産・自己資本比率

(単位 百万円)



第2四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	前連結会計年度 令和2年3月31日現在	当第2四半期 令和2年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	43,260	39,237
固定資産	44,840	45,836
有形固定資産	28,065	29,038
無形固定資産	3,000	2,818
投資その他の資産	13,775	13,979
資産合計	88,101	85,074
(負債の部)		
流動負債	27,422	22,155
固定負債	14,167	14,740
負債合計	41,589	36,895
(純資産の部)		
株主資本	47,907	48,984
資本金	3,451	3,451
資本剰余金	4,221	4,222
利益剰余金	40,899	41,958
自己株式	△664	△648
その他の包括利益累計額	△1,396	△839
その他有価証券評価差額金	△459	△125
退職給付に係る調整累計額	△936	△713
非支配株主持分	—	33
純資産合計	46,511	48,178
負債純資産合計	88,101	85,074

第2四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

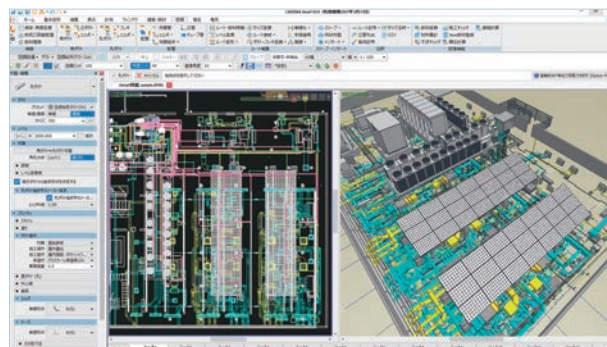
科 目	前第2四半期 平成31年4月1日から 令和元年9月30日まで	当第2四半期 令和2年4月1日から 令和2年9月30日まで
売上高	34,908	39,659
完成工事高	32,118	36,577
その他の事業売上高	2,789	3,081
売上原価	29,533	33,228
完成工事原価	27,624	31,162
その他の事業売上原価	1,909	2,065
売上総利益	5,374	6,431
完成工事総利益	4,494	5,415
その他の事業総利益	880	1,015
販売費及び一般管理費	4,157	4,304
営業利益	1,217	2,126
営業外収益	299	236
営業外費用	44	45
経常利益	1,472	2,317
特別利益	7	—
特別損失	399	100
税金等調整前四半期純利益	1,080	2,216
法人税等	446	770
四半期純利益	633	1,446
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	633	1,427

トピックス

「CADEWA Smart V2.0」リリース

3次元建築設備CADの最新バージョン「CADEWA Smart V2.0」をリリースしました。本バージョンは、他のソフトウェアとのデータ互換性を高めるとともに、部材登録や施工チェック機能を強化しており、図面作成のさらなる省力化につながります。

当社では、豊富な設計・施工ノウハウを結集したソフトウェアの開発・販売を通じて、建設業界の抱える人手不足などの諸課題についても、取り組みを進めてまいります。



「CADEWA Smart V2.0」の画面イメージ

「2019年 照明普及賞」受賞



JR高松駅 駅前広場から望むライトアップの様子

高松シンボルタワー管理協議会様と共同で企画設計し、当社が施工を行った「サポート高松 高松シンボルタワー」の演出照明施設が(一社)照明学会主催の「2019年 照明普及賞」を受賞しました。同賞は、その年に竣工した優秀な照明施設を表彰するもので、視環境、照明技法、照明効果などの観点から総合的に審査されるものです。

ライトアップのバリエーションも数多く、JR高松駅前などからカラフルで美しい光景をご覧くださいことができます。

(Photo: Nacasa & Partners)

当社陸上選手による特別授業

当社に所属し、昨年の茨城国体で成年男子400メートルに優勝した木村和史選手が、高松市内の小学校で陸上の特別授業を行いました。これは「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」の一環として、香川県からの依頼に基づき、実施されたものです。

授業では、木村選手が各教室で視聴する児童に向けてテレビを通して講演した後に、運動場で一緒に走って実技指導を行いました。実際の走りを見た児童からは、「すごい!すごい!!」と驚きの声があがりました。



児童と一緒に走る様子

当社生産のトマトをフードバンクへ寄贈



「フードバンク香川」へ寄贈の様子

当社農園「四電エアグリファーム(徳島県吉野川市)」で生産したカラフルトマトを「NPO法人フードバンクとくしま」と「NPO法人フードバンク香川」に寄贈しました。

長びくコロナ禍において、支援を必要とされている方々に対し、新鮮なトマトをお届けしたいとの思いから実施したものです。

これからも、国際社会共通の目標として掲げられた「SDGs」の達成に寄与していくため、積極的に社会貢献活動に取り組んでまいります。

会社概要／株式情報

会社概要 (令和2年9月30日現在)

商 号 株式会社 四電工
設立年月日 昭和38年5月1日
資本金 34億5,125万円
事業所数 40カ所
従業員数 2,079名

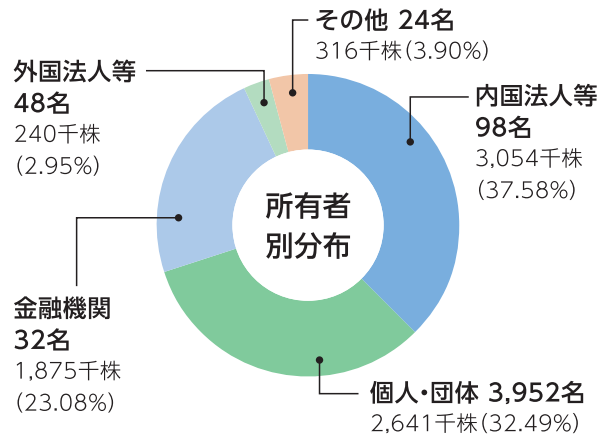
取締役社長 宮内 義 憲
専務取締役 末 廣 憲 二
専務取締役 古 川 俊 文
専務取締役 関 谷 幸 男
常務取締役 松 岡 一 雄
常務取締役 重 松 雅 男
常務取締役 高 橋 亮
常務取締役 山 崎 直 樹
取締役 白 井 久 司
取締役 森 糸 繁 樹
取締役 真 鍋 洋 子
常任監査役(常勤) 玉 野 弘
監査役(常勤) 臼 杵 明 彦
監査役 川 原 央
監査役 大 藪 修 二
監査役 岡 林 正 文

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
単元株式数 100株
公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。
(<http://www.yondenko.co.jp>)
上場取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問い合わせ先 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 大阪証券代行部
(<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>)
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777(通話料無料)
※受付時間 9:00～17:00
(土、日、祝日、12月31日～1月3日を除く)

株式の情報 (令和2年9月30日現在)

発行可能株式数 20,000,000株
発行済株式の総数 8,127,735株
株主数 4,154名
所有者別分布



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
四国電力株式会社	2,499	31.85
四電工従業員持株会	455	5.80
株式会社中国銀行	234	2.99
株式会社伊予銀行	222	2.83
株式会社百十四銀行	218	2.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	203	2.58
株式会社愛媛銀行	191	2.43
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	108	1.38
光通株式会社	101	1.29
日本生命保険相互会社	88	1.12

(注) 1. 当社は、自己株式279,695株を保有しておりますが、上記の表から除いております。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

IR情報メール配信のご案内

最新のニュースリリースやホームページの更新情報などをお届けいたします。
当社ホームページからご登録いただけますので、ぜひご利用ください。



IR情報 ▶ IR情報メール配信

